

<p>6. 事業内容</p>	<p>(ア) 安全な水へのアクセスの向上</p> <p>A. 学校における貯水タンク及び校舎の建設 校舎建設 (2校・計4校舎)、貯水タンク (3校・計5基) 2つの中学校 (ガンガンガ中学校、チオザ中学校) で各校2つの校舎建設を行なう。また、3つの小学校で貯水タンクの建設を行なう。その内訳は、ガンガンガ小学校: 1基、ネバナ小学校: 2基、ニューマイン小学校: 2基である。</p> <p>(イ) 衛生環境の改善</p> <p>B. 学校における手洗い場の設置 5基 (5校に各1基設置) 5つの小学校/中学校 (グラ小学校、ネバナ小学校、ニューマイン小学校、ガンガンガ中学校、チオザ中学校) にそれぞれ1基の手洗い場を設置する。この手洗い場はジンバブエ政府の基準に則ったもので、セメント製のものである。</p> <p>C. 参加型保健及び衛生に関する教育、及びその既習者コースの実施 6つの小学校/中学校 (グラ小学校、ネバナ小学校、ニューマイン小学校、ガンガンガ小学校、ガンガンガ中学校、チオザ中学校) 及び8区、9区、33区、34区のコミュニティでこれまで行なわれてきた保健/水・衛生研修の効果をより高めるために、フォローアップ研修を行なう。約230人のトレーナーに対して研修を行ない、約4,100人の学校の生徒や住民がトレーナーから研修を受ける予定である。</p>
<p>7. これまでの成果、課題・問題点、対応策など</p>	<p>① これまでの事業における成果 (実施した事業内容とその具体的成果)</p> <p>(ア) 安全な水へのアクセスの向上</p> <p>A. 学校における貯水タンク及び校舎の建設 3つの小学校 (ネバナ小学校、ガンガンガ小学校、ニューマイン小学校) で、それぞれ2つの校舎を建設している。2013年5月の末に、ゴクウェ・ノース行政の協力を得て建設作業員及び学校開発委員会 (School Development Committee) に対して研修を行ない、2013年6月の初旬に着工した。2013年12月末時点で、各校の1校舎目の工事はほぼ完了し、2校舎目に関しても工程の半分まで終了した。</p> <p>B. コミュニティにおける浅井戸の設置及び修繕 コミュニティ (8区、9区、33区) にて、21基の浅井戸の設置/修繕の対象地を現地行政とともに再度モニタリングし、協議を行なった。また、対象地の区長や村長などと今後の作業の進め方などについて話し合いを持った。2013年8月下旬に作業員へのトレーニングを現地の行政と協力して行ない、その後作業を開始した。2013年12月末までにすべての浅井戸の設置及び修繕は終了し、2014年1月から各井戸の水質調査を進めていく。</p> <p>(イ) 衛生環境の改善</p> <p>C. 参加型保健及び衛生に関する教育、及びその既習者コースの実施 2013年8月中旬に、水・衛生の専門機関と研修内容について調整を行な</p>

った。学校やコミュニティから研修参加者を選定し、9月下旬から10月下旬にかけて研修を行なった。その後、研修参加者が学校やコミュニティにおいて、生徒や住民への啓発活動を行なっている。

② これまでの事業を通じての課題・問題点

1. 日本人の現地事業統括は4月に1か月ジンバブエにて事業の立ち上げを行なったのち、就労許可が下りなかったために5月上旬から10月中旬までジンバブエに駐在できなかった。駐在できていなかった期間は、ADRA Zimbabweの事業部長や財務部長の協力を得ながら、日本にて事業を遠隔で管理していた。9月末に就労許可がおり、10月中旬から現地に駐在して事業を統括している。

③ 上記②に対する今後の対応策

1. 就労許可が1年のため、今年9月に就労許可を更新する必要がある。7月の中旬ごろから更新に向けて準備を進める予定である。